

## 福島県の水に関する特徴

- 太平洋と日本海に流域を分ける二つの大河と多くの河川  
(一級、二級河川あわせて500河川)
- 河川の水源のほとんどが県内にある源流県  
(源流が県外にある河川: 摺上川、松川、只見川 3/500)
- 県民一人当たりの水資源賦存量(関東の14倍)
- 恵みをもたらす、きれいで美しい天空の水がめ  
(猪苗代湖、南会津のブナ林、越後山脈・飯豊山の雪など)
- 多様な生態系(尾瀬・駒止湿原、ブナ、サケなど)
- 先人が築いた導水・ため池の上に成り立つくらし
- 引き継がれる水文化(神事、祭り、語り部、食文化など)
- 大人から子供まで盛んな水に関する活動

# 特徴ある3地方(3つの流域)

## 会津地方(阿賀野川流域)

- ・日本海型の豪雪地帯
- ・盆地性の夏暑く・冬寒い気候
- ・多くの湧水(水道水源の6割)
- ・きれいな猪苗代湖等の湖沼
- ・豊かな森、湿原
- ・社会を支える発電基地
- ・農業水路のまち中の暗渠化

## 浜通り地方(2級水系群)

- ・太平洋型の暖かい気候
- ・阿武隈高地から急流で短い川
- ・流域(森、まち、田畑)の影響が川や海に直結
- ・ダム、ため池により成り立つ大地

会津地方

阿賀野川水系

阿武隈川水系

中通り地方

二級水系

浜通り地方

那珂川水系

久慈川水系

## 中通り地方(阿武隈川、久慈川流域)

- ・内陸性の少雨気候
- ・導水(用水)、ため池で潤される大地
- ・氾濫でできた低地に人口が集中
- ・まちの営みを映す川
- ・水質汚濁(生活排水、支川)
- ・地下水の汚染